学校番号	105

令和３年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　十九訂版　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史とは、「先人達の足跡をたどること」である。
・歴史的事象について「なぜ」の視点を持つ－機械的な暗記ではなく、その事象へと導く行動を理解し、習得する。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題との結びつきを歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	一体化に向かう世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	一体化に向かう世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	一体化に向かう世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート 主題学習	定期考査 ワークシート 主題学習	定期考査 ワークシート 主題学習	定期考査 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世ヨーロッパと形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・激化する覇権競争 ・近世ヨーロッパの社会と文化	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 16 世紀から 18 世紀にかけての西ヨーロッパ地域世界の動向に対する関心を高め，その歴史的展開について意欲的に追究しようとしている。 b: 16 世紀から 18 世紀にかけての西ヨーロッパ地域世界の動向，社会や文化の特質について多面的・多角的に考察し、その歴史的展開の過程や結果を適切に表現している。 c: 16 世紀から 18 世紀にかけての西ヨーロッパ地域世界の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され，ヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを理解し，その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向に対する関心を高め，それぞれの社会や文化の特質について意欲的に追究しようとしている。 b: 16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向，それぞれの社会や文化の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 16 世紀から 18 世紀にかけてのアジア諸地域世界の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 西アジアや南アジアでは，イスラームの帝国が海上に交易圏を形成して栄えたことや、東南アジア海域では港市が発達したこと、東アジアでは明がモンゴルや倭寇の活動に苦しみながらも商工業を発達したこと、その知識を身に付けている・16 世紀後半から17世紀の日本が銀の輸出を通して外の世界とつながっていたことを理解し，その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査

2学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○ ○	 ○ 	 ○	○ ○ ○	a: 18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: ・イギリス産業革命の世界的背景や展開，産業資本主義の確立、アメリカ独立革命・フランス革命などの結果，市民社会が成立し，さらには国民国家の形成が促されたことを理解し，その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査
	欧米における近代国民国家の	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 19 世紀の欧米の文化	 ○ 	○ 	○ ○ ○	○ ○	a:19 世紀のヨーロッパ及びアメリカをめぐる国際関係や、その中での諸国の歴史展開への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:19 世紀のヨーロッパ及びアメリカをめぐる国際関係、その中での諸国の歴史展開について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:19 世紀のヨーロッパ諸国及びアメリカについての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ナポレオン後のヨーロッパにおける反動としてのウィーン体制の特質と、その崩壊後の市民社会の完成が資本主義の確立と動議であることを理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査

	アジア諸地域の同様・帝国主義とアジアの民族運動	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア、東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:19 世紀後半における欧米列強の帝国主義的動向と、これに対するアジア･アフリカ諸地域のナショナリズムへの関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 19 世紀後半における欧米列強の帝国主義的動向と、これに対するアジア･アフリカ諸地域のナショナリズムについて、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:19 世紀後半の欧米列強の動向、アジア･アフリカ諸地域における抵抗と改革についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:19 世紀後半における帝国主義国家による「世界分割」と、アジア･アフリカ諸地域におけるナショナリズムの覚醒とその運動についての理解を深め、その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査
3学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア、アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:両大戦をめぐる国際関係､戦間期におけるアジア諸地域の動向への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:両大戦をめぐる国際関係､戦間期におけるアジア諸地域の動向について、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:両大戦をめぐる国際関係やアジア諸地域の動向についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:両大戦をめぐる主要国の動向を把握し､大戦の本質が帝国主義戦争であること、これに対しアジア諸地域においてナショナリズムが台頭し第二次大戦後の植民地支配からの独立へとつながっていったことについての理解を深め、その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査

	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧、日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米ソの歩みより ・石油危機と世界経済の再編	○	○	○ ○	○	a:第二次大戦後の東西冷戦の基本構造、その中での世界各地域の動向への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第二次大戦後の東西冷戦の基本構造、その中での世界各地域の動向について、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:東西冷戦の基本構造とそこに現れた種々の事象、世界の諸地域の動向についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次大戦末期に始まる東西冷戦の基本構造、及びそこに生じた諸問題(分断国家、代理戦争など)とそれが世界各地域にもたらした影響への理解を深め、その知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査
	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸特徴	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○		a:冷戦終結後の世界の抱える諸問題への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦終結後の世界の抱える諸問題について、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:冷戦終結後の世界における種々の問題について、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:冷戦終結後、新たに世界が抱え込むこととなった民族や宗教をめぐる対立、グローバリゼーションのもたらす格差、地球環境問題といった新しい困難への理解を深め、核問題についての基本的知識を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。